

斉藤しげひと 3つの宣言

宣言 ① “身を切る改革”

● 議員の高待遇の事実

世田谷区議会議員の年間収入が、
約1,300万円／年間という事実

※ 政務調査費24万円／月含まず。 ※ 議長、副議長には、役職手当という更なるお手盛り手当が加算されます。

国民の年間平均所得 **約440万円の約3倍**の高・高・高待遇状態！
公務日数年間約60～70日程度で高額な議員の収入！（日当約20万円）

平成31年4月21日執行
世田谷区議会議員選挙ビラ
18
世田谷区選挙管理委員会

斉藤しげひとは、**議員報酬の30%**を
全国の被災地や福祉施設等に**寄付**します。

私は世田谷区議会議員報酬の30%削減を訴えています、
実現の為には区議会の可決が必要になります。
単に訴えているだけでは他の議員の賛同を得るのは難しいでしょう。
そこで…、

斉藤の提案

- ★ 私は自らの報酬30%を受け取らずに被災地や福祉施設等に寄付します。
(報酬を世田谷区に返上しようと考えましたが、
法律により選挙区内の寄付が禁じられているため、他地域への寄付とします。)
- ★ 私自身が身を切る姿勢を示すことで、他の議員の賛同を得ていきたいと考えます。
- ★ 寄付先及び寄付額はホームページなどで公表していきます。

宣言 ② “ムダ使いを徹底監視”

● 入札制度の理解不能な事実

最安値で入札したのに落札できなかった建設会社からは疑問の声

(世田谷区発注公共事業)	(入札結果)
● 予定価格(区が見積もる事業費):1億5,603万8,400円(公表)	A社:1億5,498万円
● 最低制限価格(予定価格の10分の9から10分の7までの間で区が独自に設定し、それを下回る入札価格は即時失格):非公表	B社:1億5,291万7,200円 → 落札
(H29.4.27執行分)	C社:1億3,879万6,157円 → 最低制限価格未滿として失格 なぜ???

C社は落札したB社より約1,400万円も安い入札をしたが、区はその入札価格の妥当性を精査すらせずにC社を失格とした疑問。

斉藤の提案

- ★ 最低制限価格未滿の入札でも、即時失格とせずその入札価格の妥当性を確認する仕組みを導入します。
もちろん、妥当性が確認された場合は落札されます。
- ★ ある自治体では非公表の最低制限価格と全く同じ金額を入札した企業がありました。
最低制限価格が漏れていた可能性もあり、談合防止の観点からも「最低制限価格未滿は即時失格」は止めるべきです。

斉藤の目

- ★ 私は、保育業に携わる前、建設会社に勤めており、官庁営業担当として公共事業の入札現場の最前線にいました。
- ★ 入札制度、業界の事情を熟知しているからこそ、私が区の公共事業を徹底的に監視します。

国民民主党公認 自由党推薦
斉藤しげひと



宣言 ③ “保育園を経営して分かったことー。保育と介護の悩みは同じ!!”



● 保育現場の声

保育園を経営して気付いた待機児童の現実

私が本年4月1日に区内で開園した認可外保育園では、定員19名に対して60名以上の入園申し込みがありました。しかし、区は当該地域での保育園整備優先度は低いと判定しています。区は実態を全く把握できていません。区の保育園整備計画は認可保育園への入園申し込みをした方々の情報を基にしていますが、待機児童問題の全面解決の為に、潜在的待機児童の存在（**隠れ待機児童**）を把握する必要があります。

問題点 ▶ 実態の把握が出来ていないことによる保育施設や保育サービス不足

認可保育園の現役保育士からの切実な声

保育に携わる人間は、ほぼ全員が子どもを愛しています。ですが、その現場は、仕事の過酷さに身体を壊す、精神的に病んでしまう人が少なくない状況です。子どもに携わるやりがいのある仕事ですが、保育をしながらデスクワークをこなし、クラス環境を整えるという多くの業務を一人の保育士が背負っているのが現状です。労働時間の長さ、その割に初任給の手取りが12万円の現状、離職率も高く、**現場に笑顔がありません。**

問題点 ▶ 保育現場で働く人の待遇や労働環境の改善が必要

● 介護現場の声

区民の方から直接メールで寄せられた介護現場の現実（一部を抜粋）

介護について、私が壁に感じているのは、介護サービスのなかで、「生活支援」という面で、同居の家族がいると、原則として受けられないことだと思いました。施設ではなく、在宅介護での問題です。生活支援とは、簡単に言ってしまうと、掃除、洗濯、炊事、買い物等々です。原則なので、家族の状況により支援は受けられますが、**突発的な仕事起きた場合の受け皿（施設）がありません。**残業などが多い場合、就寝の支度をしてくれるヘルパーさんを頼みたくても、なかなか人材がいません。

問題点 ▶ 実態の把握が出来ていないことによる介護施設や介護サービス不足

区民の方から直接メールで寄せられた介護職員の窮状（一部を抜粋）

いつも疲弊しているヘルパーさんには、安心して任せられず、家族の負担が大きくなるという負のスパイラルになってしまいます。安心して親を預けて、働くことができる社会になってほしいと思っています。いろいろ調べてみて、政策に頼る部分は介護関係者の報酬や地位向上なのかなあと感じました。

問題点 ▶ 介護現場で働く人の待遇や労働環境の改善が必要

斉藤の提案

- ★ 保育と介護の問題は**基本的に同じ**。保育と介護を一緒に考えていきます。
- ★ 財源を確保し、施設やサービスを拡充していきます。
- ★ 現場で働く人の処遇改善を目指します。

私も
推薦
します

国民民主党代表 玉木雄一郎
自由党代表 小沢一郎
元東京都議会議員 関口太一

斉藤しげひとプロフィール

兵庫県生まれ。甲南大学卒業。等々力在住の50歳。妻、長女、長男、次男の5人家族。大手ゼネコン、不動産会社を経て、保育事業を立ち上げる。現在7園の保育園を経営。

